

●地域産業経営学科

1. 教育研究上の目的

本学科は、農林水産業、食品加工業、自然を活かした観光業、環境ビジネスなど、地域産業を支える経営を実践するための経営学理念を修得するとともに、そうした生物産業を中心とした経営体の持続的発展、産業間連携の支援を通じて地域産業の再生・活性化・創造に貢献し、地域産業の担い手たる人材をオホーツクの地・産業をフィールドとして養成する。

2. 教育目標

地域産業経営学科は、その人材養成目的を踏まえ、次のような者の養成を教育目標とする。

- (1) 広義の農学である生物産業学を基盤とし、地域産業経営学科における専門知識と技術を有する者。
- (2) 専門家としての責任を自覚し、実学主義のもと問題解決能力と意欲を有する者。
- (3) 適切なコミュニケーション及びプレゼンテーション能力を有し、社会貢献ができる者。

3. アドミッションポリシー

地域産業経営学科は、豊かな生物資源と自然資源を有するオホーツク地域をフィールドとして、生物産業を中心とした経営体の持続的発展と産業連携の支援手法、さらに地域産業の再生・活性化・創造に貢献できる問題解決型の地域産業経営学を修得し、世界に通用する実践力と社会的使命を果たす主体的な意欲に溢れた人を求めている。

- (1) 学部の教育目標の下で、生物産業学を修める意欲ある人。
- (2) 高校までの基礎学力を着実に修得している人。
- (3) 心身共に健全で自立した社会生活ができ、人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する人。
- (4) 地域や社会に貢献しようとする広い視野、明確な問題意識、強い意欲を有する人。

4. カリキュラムポリシー

地域産業経営学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえ、以下の専門科目を配置し、これに従い教育を行う。

- (1) 地域産業経営学科では、生物産業の持続的発展と地域の活性化への基礎となる経営学・経済学に関する理論や実践的な分析手法を修得するための科目。
- (2) 生物産業の持続的発展と両輪をなす地域ビジネスに係わる理論と実践的方法を修得する「地域産業経営」について学ぶ科目。
- (3) 地域連携を通じた活性化の諸方策を修得する「地域産業連携」を体系的に学修す

る科目。

5. ディプロマポリシー

地域産業経営学科は、次の能力が身に付いている学生に対し、学位を授与する。

- (1) 所定の期間在学し、全学、学部共通科目に加え、「生産—加工—流通・ビジネス」の学部理念のもとに編成した地域産業経営学科の特徴を活かした科目や演習、実習、ゼミナールを含めた専門的知識や技術を身に付けている。
- (2) 卒業論文作成に取り組み、論理的思考力や問題解決力などの能力を身に付けている。
- (3) 本学部での教育研究及び課外活動から修得した能力を活かし地域社会に貢献することができる。